

平成23年度年間授業計画(第5学年理科)

月	学習内容(単元)	年間学習目標
4	・発芽と成長	【自然事象への関心・意欲・態度】 ○ 自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。 ○ 【科学的な考え方】 自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的变化をとらえ、問題を解決する。 【観察・実験の技能・表現】 ○ 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察・実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。 【自然事象についての知識・理解】 ○ 生命は連続していることや、ものの状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象現象や流水の働きには規則性があることを理解している。
5	・メダカの誕生	
6	・ふりこ	
6	・台風接近	
7	・花から実へ	
9	・天気の変化	
10	・流れる水のはたらき	
11	・電流が生み出す力	
12	・人の誕生	
1	・受けつがれる生命	
2	・もののとけ方	
3		
年間授業時数		105
授業の工夫	○ 実験や観察を大切に、できるだけ一人一人が個別にできるようにする。 ○ 学習したことを生かせるようにものづくりを取り入れる。 ○ 身のまわりの情報に目を向け、日常の生活と結びついた学習になるよう工夫する。	
評価について	○ 単元ごとのテストだけでなく、観察・実験の計画や予想、結果などを記したノートやワークシートの記録を大切にする。 ○ 実験・観察では条件整理をきちんとしているかを評価する。また、発表など意欲的に取り組んでいるかを評価する。	
学習方法 (家庭学習) など	○ 夏休み前に自由研究の事前指導を行うので、夏休み中に継続して取り組むよう保護者に協力を求める。 ○ 授業の中でも、ものづくりを大切にする。家庭にある牛乳パックやペットボトルなどの材料を使い、工夫してものづくりに取り組むよう保護者に協力を求める。	